



# 緑町防災かわら版

盛岡市が市とNPO、そして住民との協働を推進するための協働パイロット事業「自主防災のまちづくり事業」がスタートしました。

いざという災害の時、最初に頼りになるのは、隣近所の助け合いです。地域のネットワークは出来ていますか？地域の防災体制はどうなっていますか？

この度、緑町自治会の皆様にご協力いただき、全3回に渡り防災勉強会、防災検討会、事業発表会と開催していきます。



1月13日：自治会代表の皆様への事業説明

2月5日(日)  
19:00~

## 防災勉強会を開催！

谷地頭集会所  
にて

### 第1回目

谷地頭集会所で「防災勉強会」を開催致しました。一段と寒い夜にもかかわらず、緑町の皆様 23 名にご参加いただきました。藤澤自治会長の挨拶のあと、盛岡市総務部消防防災課の中越地震災害救援報告、事務局からの住民防災意識調査結果中間報告と続き、最後に、アジア航測(株)の杉浦氏から、厨川地区の災害の可能性についてお話を伺いました。

身近な地域の話題だけに、皆さん、熱心に話を聞いてくださり、活発な質疑応答が交わされました。



### ☆☆☆ご参加の皆さま☆☆☆

緑町自治会 藤澤会長  
緑町自治会の皆さま  
盛岡市総務部消防防災課 高橋課長  
同課 吉田課長補佐  
アジア航測株式会社 菅原盛岡支店長  
同社(神奈川) 杉浦都市防災担当課長  
NPO 法人アイディングスタッフ

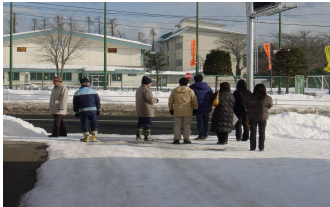
☆



## 勉強会の前に・・・町内を点検ウォッチング

2月5日夜の防災勉強会を前に、すばらしく晴れ上がった午後、地元「緑町自治会」の皆さんにご案内して頂き、アジア航測(株)都市防災担当課の杉浦さんのご指導のもと町内の防災点検ウォッチングを行いました。

谷地頭集会所を起点に避難所「厨川小学校」を經由し、町内の主要箇所を一周しました。実際に、現地を見ながら、災害時に倒れそうな塀や電柱、その他避難の際の障害になりそうな場所を専門家の杉浦さんに教えていただきながら、避難路までの経路を確認しました。



倒れそうなブロック塀、落下しそうな看板、固定されていない自動販売機、道幅の狭い袋小路、灯りの無い古い陸橋、避難場所前にある交通量の多い道路、住宅地に密接した有刺鉄線……いざという時、この地域の避難経路の課題のひとつひとつが重なり、大変な事態になるかもしれません。

### 主な課題

- 1 道が狭く袋小路になった道が多い。
- 2 避難所となっている北厨川小学校前に国道4号線が通っていて、交通量の多い道路を横切るか、陸橋を渡らなければならない。
- 3 東側の家畜改良センターとの境に張られている有刺鉄線は、西側への避難が困難な時など非常に危険。



ご指導いただいた杉浦さんです！

2月5日夜の勉強会には、皆様をお願いした防災に関するアンケート調査の中間報告と共にこの点検ウォッチングの結果も報告させていただきました。



さて、次回は・・・2月19日(日) 19:00～21:00

「防災検討会」を会場：谷地頭集会所にて開催いたします！

緑町地域の災害時の課題をみんなで一緒に考え、必要な対策を検討します。

本事業は、盛岡市協働推進パイロット事業を特定非営利活動法人アイディングが受託し、緑町自治会の協力で地域の自主防災を推進する目的で行うものです。ご町内の多くの方々のご参加をお待ちしております。

お問合せ：特定非営利活動法人 アイディング 盛岡市仙北3丁目21-6 tel(635-4416) fax(636-0284)

E-mail:info@iding.org URL:<http://www.iding.org>